



北九州高校トピックス

タイトル: 2021 年度高校生国際協力実体験プログラム 第1日目終了

JICA 九州が主催する「2021 年度高校生国際協力実体験プログラム」の第1日目の研修が 10 月 23 日(土)に開催され、当日は 9 時から 17 時までの終日研修でしたが、選ばれた生徒 4 名は真剣な眼差しで全プログラムに打ち込んでいました。

まず、自己紹介を行い、その後に世界の言葉でラジオ体操をしてウォーミングアップを終えた後に、事前に手作りで準備した学校紹介を行いました。

それから、国際理解ワークショップとして「絵本から学ぶトンガ王国と SDGs」に参加し、日本との違いを体験しました。

その後はいよいよ「協力隊疑似体験」から国際協力を学びました。生徒はみんな「コミュニティ開発」の職種で派遣された隊員となり、貧困に苦しむ地域の問題点を洗い出したり、必要な支援を考えたり、資金に頼らない国際協力を話し合ったりして、情報収集と情報共有を行いました。最終的に自分たちのアイデアをまとめて、7分間の発表をするために、各自のアイデアをブレインストーミングしたり、ダイヤモンドランキングの手法を活用したりして、情報の整理に注力しました。

研修最後の活動は、外国人研修生と英語による交流を行いました。最初に自分たちの街自慢を英語で発表し、その後に研修生と英語で質疑応答することにより、自分たちの英語力を試す良い機会となり、さらには自信をつけるきっかけとなりました。

次回は 12 月 2 日(木)に開催される第 2 日目に向けて、発表と動画撮影をしっかりと準備します。

《活動中の写真》

